

## 課題4 地域の防犯

### ■現状（意見）

- ・犬の散歩のときに空き家のチェックをしている。
- ・町会で防犯パトロールを実施している。
- ・災害時に見てまわれるか、どのように見てまわってよいかわからない。

### ■地区としての今後の取り組みの方向性

- ①日頃から地域の防犯意識を高める。
- ②災害時にも動ける防犯パトロール体制を作る。

### ■各団体の今後の取り組みの方向性

#### 【町会】

- ・日頃から地域の防犯意識を高める。  
→平常時、災害時ともに地域の見守り部隊を作り、パトロールをする。  
→ご近所へ防犯情報等の声かけ、町会掲示板への掲示をする。

#### 【PTA】

- ・日頃から地域の防犯意識を高める。  
→自転車かごにパトロール中とはりつける。

### ■その時あなたは、どうしますか？

#### 避難所では

- ・時間を不定期にして見回る（泥棒、火災）
- ・犯人はプロのため、警備の手薄を狙っている。不定期の時間に巡回する。

#### 普段では

- ・隣近所の接点がないため、常に近所の人気が気かければいいのか。
- ・パトロール隊を増やして日頃から実施していく。
- ・人は必ず買い物に行くから近くのコンビニなどに連絡してみる。
- ・パトロール中というたすきを作り、犬の散歩のときにつける。
- ・40、50代のお父さんに防災訓練に参加してもらう。
- ・防犯パトロールをする防災メンバーを公募にする。
- ・パトカーのパトロールの巡回回数を増やす。
- ・若いメンバーが必要。

## 課題5 火災

### ■現状（意見）

- 消火器や消火栓の場所を知らない人が多い。
- 消火器具の取り扱い方法を知らない人が多い。
- 訓練の回数が不足している。

### ■地区としての今後の取り組みの方向性

- ①消火器具の場所を周知する。
- ②消火器具の操作方法を地区住民が習得する。

### ■各団体の今後の取り組みの方向性

#### 【町会】

- 各町会は、消火器具の取り扱い訓練を行う。
- 世田谷東町会は、通電火災について周知し、感震ブレーカーを推進する。
- 松丘町会は、消火器具の場所を記したマップの住民への配布をおこなっている。

#### その他の意見

- マップ未作成の町会は、消火器、消火栓の数、井戸のある家など消火器具の場所をマップ化して配布する。
- 実際の避難ルートを歩いたり、防災倉庫の資機材を使用しより実践に近い訓練を行う。
- 各家庭で火災対策をしてもらうよう、周知する。
  - 感震ブレーカーの設置
  - ブレーカーを落とすよう意識する。

#### 【集合住宅】

- 消防署や防災の知識を持つ人を呼び、集合住宅ごとに防災訓練を行う。
- 集合住宅内の防災倉庫の中身を充実させる。

#### 【商店街】

- 街路灯にスタンドパイプを設置し、火災時に誰でも使えるようにしておく。

### ■その時あなたは、どうしますか？

- ペットボトルに水をためている。
- 消火器を火元に近いところに置いている。
- ゴミだしの日を必ず守っている。
- 長期外出期にはブレーカーを落としている。
- 玄関外にバケツに水を貯めてある。
- コンセントの近くを丁寧に掃除してある。
- 町会自主消火隊として月1回の消火訓練実施。（松丘小、PTAと協力）
- 各自宅に消火器あり。

- 集合住宅の連絡通路に物が無いことを徹底する。
- ミニディの中でスタッフ、参加者が訓練をしなければと認識し始め関係者との話し合いを始めた。
- マンションで消火訓練を定期的に行っている。
- 消火器設置（3本）
- 水源を設置（タンクなど）
- 約10年前の建て替え時、周囲を空ける努力（東南各地）

その他の意見

- 木造密集地域あり。
  - ホースが100m必要（40m、20m）
- スタンドパイプの使用訓練の場所がない。
- 防災訓練をもっと広くやりたい。（学校、他町会）
- 防災訓練の参加者が少ない。
  - 参加していない方の意識向上が必要、PR活動
- PTAのパワーを取り込んだ活動
- 避難場所への順路の指示はないのか。逃げ方がわからない人がいる。
- 集合住宅、防災器具の点検を定期的に行っている。
- 集合住宅なので管理組合にまかせっきり。